

オール与党市政に立ち向かい 積極提案と市民共同で願いを実現

くらしの守り手、頼れる相談相手 日本共産党の2議席

「ムダ」をなくす議席です

市政を厳しくチェック



- 伊勢崎駅周辺開発を大幅見直しさせる
- 日本共産党は、企業団体献金も政党助成金も受け取れません。特定団体いいなりにならぬ、どんな問題でも「市民の立場」で主張し、行動します。
- 「ムダ」をなくす議席です
- 市政を厳しくチェック

当初1137億円の巨大事業。住民との共同の運動で大幅見直しを求めてきました。昨年度、35m道路など広すぎる道路の見直しや減歩率の3%以上引き下げが実現しました。

「大丈夫だろう」と思って議席がなくなったら大変！

日本共産党の市議は、ほかの党や会派の議員にはできない役割をはたしています。それだけに、他陣営は「共産党は大丈夫だから私に支持を」と吹聴しています。ネライは「共産党落とし」です。「大丈夫」の宣伝にまどわされて共産党の議席を失ったら、「なんでも賛成」の市議会に。日本共産党の2議席は、市民の切実な声を市政にまっすぐ届け、実現を迫る議席です。1議席も欠かせません。

くらし・雇用の命綱です

- 中学卒業まで子ども医療費無料化
- 国保税1世帯1万5千円の引き下げ
- 住宅リフォーム助成制度を
- 提案・実現
- 負担増・市民いじめにたちはだかる
- 大雪被害対策
- 「消費税増税中止」「TPP参加やめよ」市民の声を国政へ
- いざという時の頼れる相談役

「住民の苦難軽減」——これが日本共産党の活動の原点です。だからこそ、悪政の「防波堤」としてがんばることができます。

2月の歴史的大雪の時、いち早く現地とJAへの調査もおこない、具体的な支援策を提言し、国・県の支援もあって市の支援策も大きく前進しました。いち早い対応をJA幹部も評価しています。

● 大雪被害対策

消費税増税の中止、市の農業に壊滅的損失を及ぼすTPPに参加するな——市民の声を国政へ届けるよう市議会で主張してきました。

● いざという時の頼れる相談役

市議団の生活相談は4年間で1000件。命にかかる国民健康保険証の取り上げなど、冷たい市政に泣く市民の相談に応じ、解決しています。

「介護」が危ない！！

安倍・自公政権の消費税増税に次ぐ毒矢は、社会保障の大改悪です。「介護度が重くなると判定された高齢者からホームヘルプやデイサービスをとりあげ（要支援1, 2）、特養ホームに入所できなくなる（介護度2以下）」「介護保険大改悪」をねらっています。日本共産党は、介護保険改悪ストップに全力をつくります。

<http://www.jcp-isesaki.net>
共産伊勢崎 で検索を



市民の力をいかす議席です

政治を動かすのは主人公である市民——この立場をつらぬいています。

だから、市民といつしょに運動し、政治を動かすことができます。

市民の声を届け、提案し行動。市政を動かす